

つくば市の

みんなであらう 急変時対応シート

平成30年8月31日 平成30年度第1回多職種連携のための意見交換会
グループワーク資料

松戸市における取り組み
ふくろうプロジェクト

多職種連携

専門性向上と役割分担明確化

人生の最終段階における医療・ケアの
決定プロセスに関するガイドライン

厚生労働省 改定 平成30年3月

市民の理解と参画

地域包括ケア体制 の充実

本人・家族と共にみなんで考える
アドバンス・ケア・プランニング
29年第2回多職種連携のための意見交換会

高齢者の
救急搬送増加

緊急時に大きい病院に入院
そのまま かかりつけ医になる

在宅医療の認知度
もっと上げる必要がある

意思決定の難しさ

「つくつく見守りたい」の認知度
ほとんどない

急変時の対応
事前に病院と連携する仕組み
づくりが必要

つくば市の救急医療と在宅医療連携のための課題や現状



この情報共有シートは、万が一病状が急変した時、本人家族が慌てず、本人が大事にしている本人の意向を尊重し、本人が望む必要な治療やサポートを受けることができるよう本人・家族・医療・ケアチームが本人の情報を確認するための情報共有シートです。普段から身近にいる大切な家族や友人、医療・ケアチームと自分にとっての最善の医療・ケアについて繰り返し話し合ひましょう。

さんに想定される急変時の症状

壁に貼ってください

作成日 年 月 日

名前：
生年月日：
担当CM(居宅)：
TEL：

つくば市
ツクツク見守りたい

有

無

「元気のうちから考える」本人・家族・友人・かりつけ医・看護師・ケアマネジャー・ヘルパー等と自分の最善の医療ケアについて繰り返し話し合ひましょう

できるだけ長く生きることが優先して治療を受けたい
(救急救命医療を提供するための病院へ搬送)



長く生きることより、苦痛を減らすための治療や負担のない治療を**病院**で受けたい
(必要があれば、苦痛をとるために抗生剤や水分補給の点滴、酸素吸入をする)



長く生きることより苦痛を和らげながら住み慣れた**自宅**や**施設**で過ごしたい
(救急搬送はしないでほしい)



まだ決められない
分からない



救急車要請
119番

訪看
TEL

主治医 _____ 病院 _____ Dr
TEL

訪看
TEL

主治医 _____ 病院 _____ Dr
TEL

救命治療

苦痛を緩和する治療

病院

自宅

施設

家族及び多職種も含め最善の治療方針を合意

本人自身の考えを推定

救急車要請事項

- ・病気に対する急変時
- ・ケガに関すること
- ・喉に詰まった

判断に迷ったときは

119番

急変時必要品

・保険証 ・お薬手帳(もしくはお薬一式)

急変時の連絡先

①氏名(続柄) TEL
①氏名() TEL

本人の想い

※アドバンス・ケア・プランニング(ACP)って知っていますか？

将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、患者さんを主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセスのことです。

情報共有シートでいたいこと・できること

- ・元気なうちから人生の最期における生き方について、関係者と繰り返し確認することを目的。
- ・CMさんがいる利用者さんを対象。急変時に備えて、必要な情報を一枚のシートで確認できる。 ※医師にとっては急変ではなくても本人・家族にとっては急変・緊急状態
- ①本人の意向
- ②緊急連絡先
- ③かかりつけ医・訪問看護・居宅介護支援事業所の連絡先
- ④本人の病歴や服薬状況 ーつくつく見守りたいシートの活用ー
- ・情報共有シートの取り扱い説明書を準備予定

情報共有シートを活用していきたい！のですが……

シートには課題山積

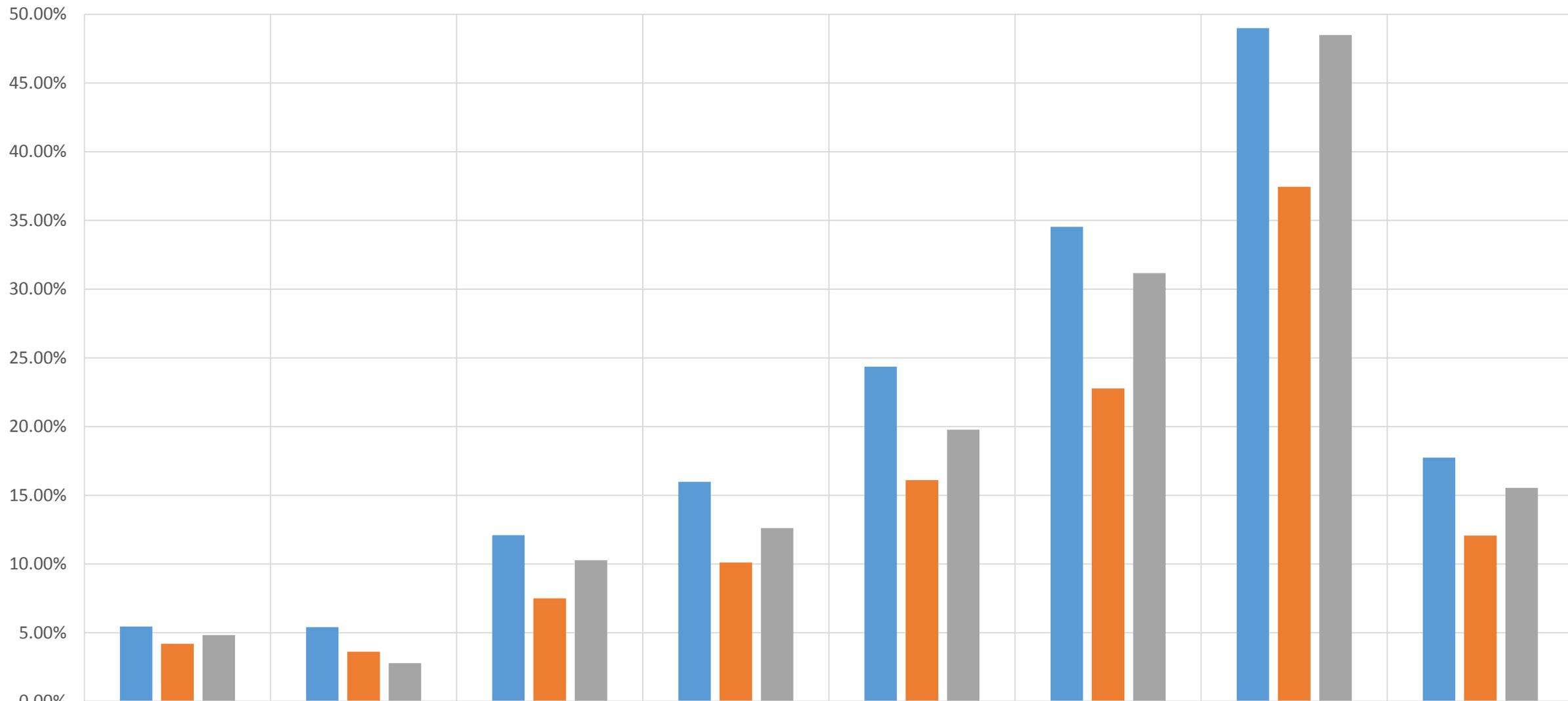
訪問診療、訪問看護利用していない人は使いにくそう

介護度が軽い人は使いにくいのでは？

結局は救急搬送するようになるのでは？

慢性疾患と認知症でも予後が違う

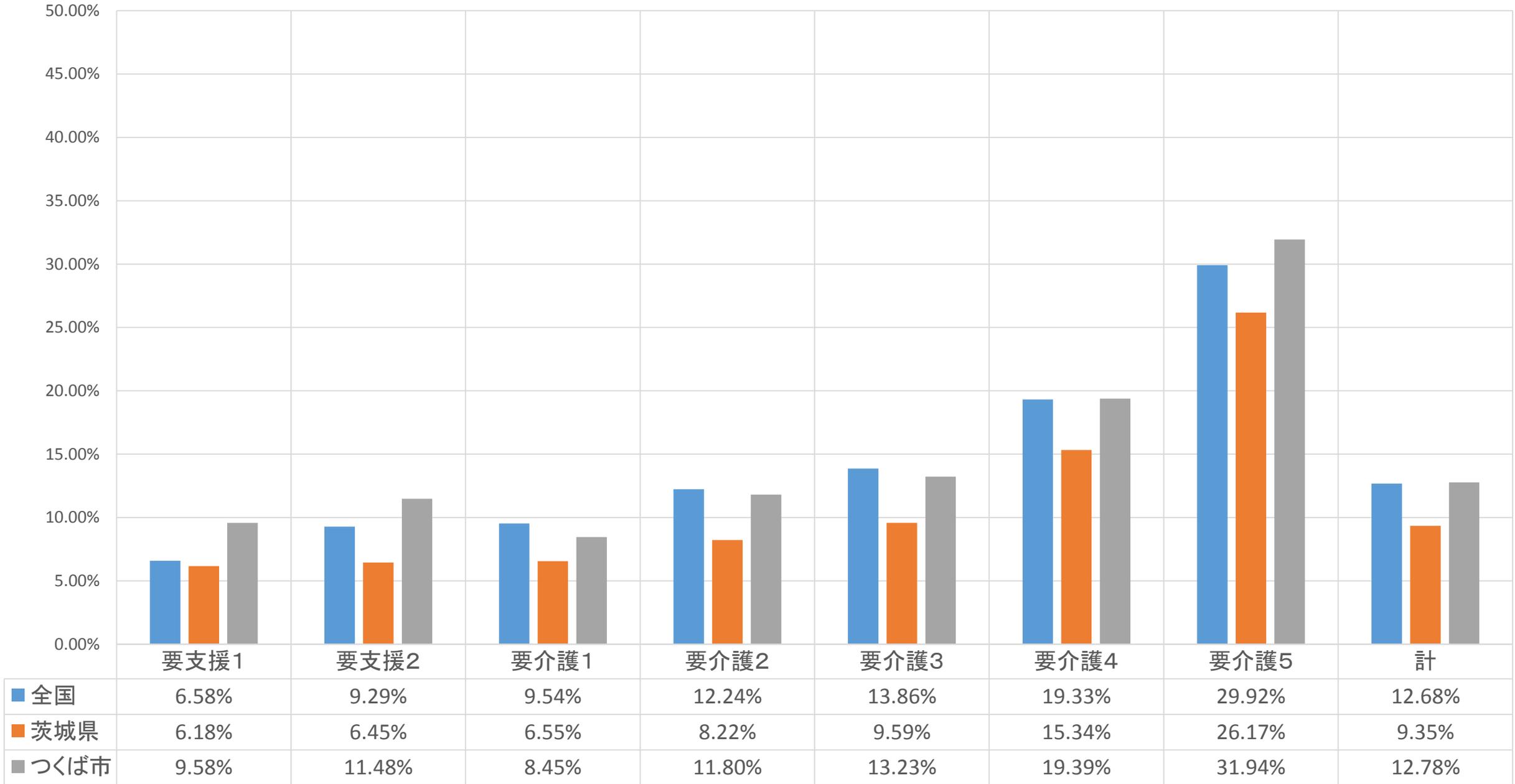
ACPの理解を得るのには時間がかかる



■ 全国	5.46%	5.41%	12.10%	15.98%	24.35%	34.53%	48.99%	17.74%
■ 茨城県	4.19%	3.62%	7.49%	10.11%	16.11%	22.78%	37.46%	12.06%
■ つくば市	4.83%	2.78%	10.28%	12.61%	19.77%	31.17%	48.50%	15.54%

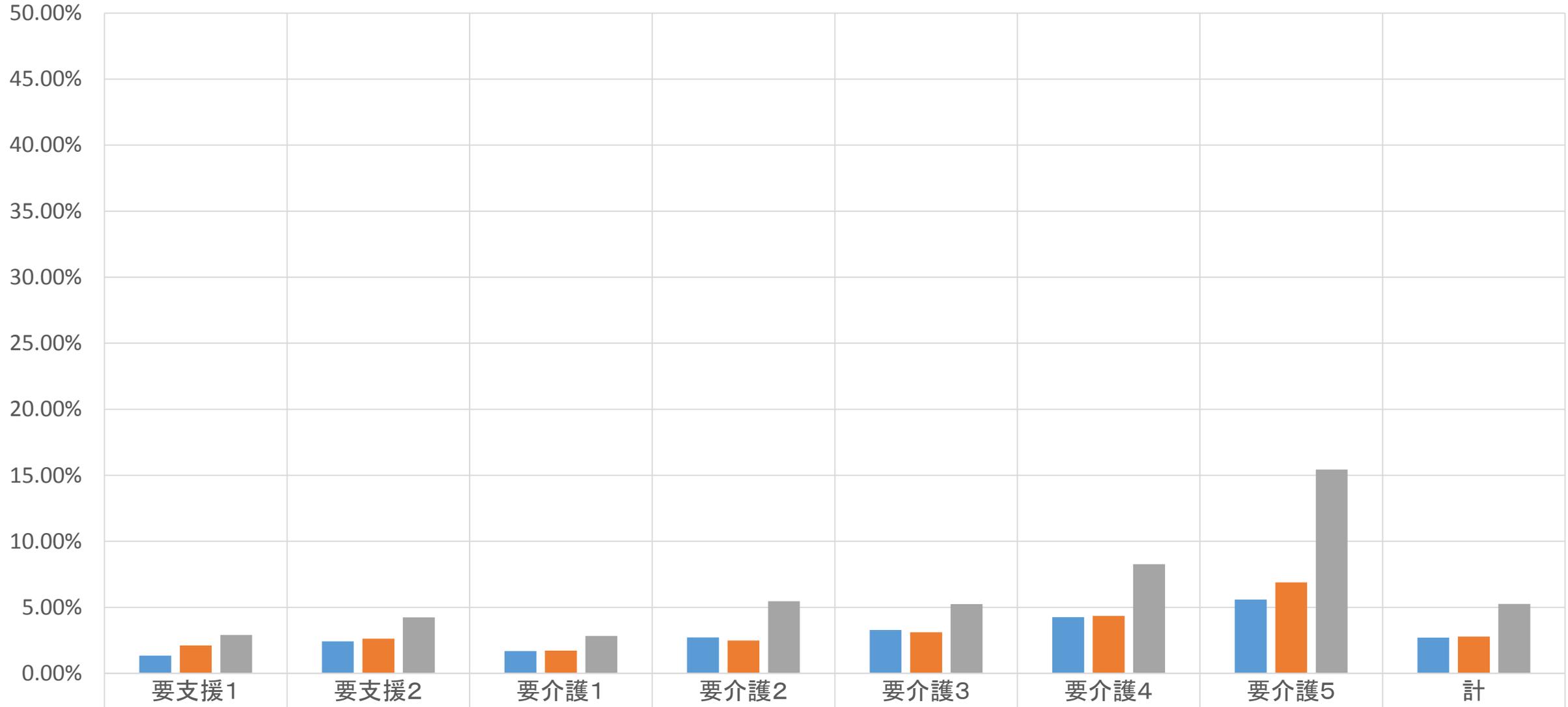
訪問看護サービス

29年度給付実績



訪問リハビリテーション

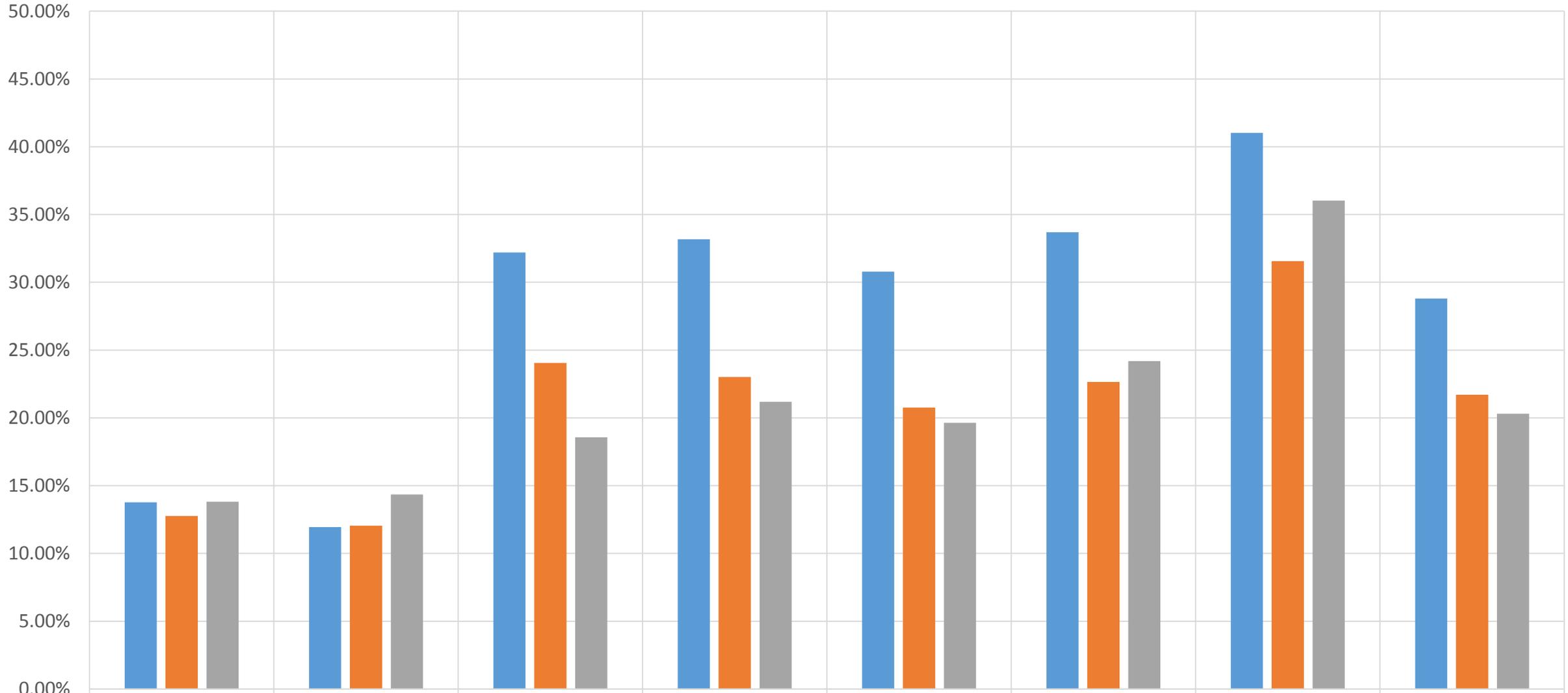
29年度給付実績



■ 全国	1.35%	2.43%	1.70%	2.73%	3.29%	4.27%	5.59%	2.71%
■ 茨城県	2.12%	2.64%	1.72%	2.49%	3.11%	4.36%	6.88%	2.79%
■ つくば市	2.92%	4.24%	2.83%	5.47%	5.24%	8.28%	15.44%	5.26%

訪問介護サービス

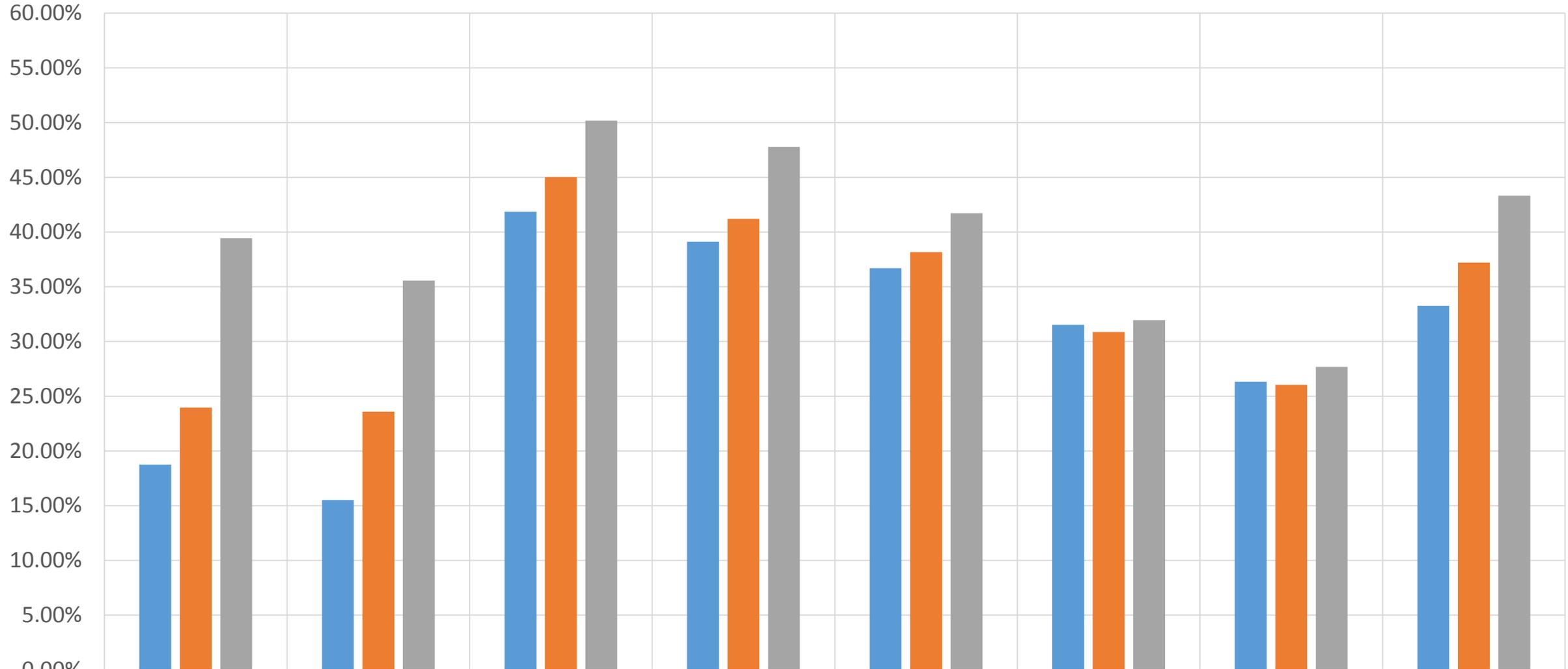
29年度給付実績



■ 全国	13.77%	11.95%	32.20%	33.18%	30.79%	33.69%	41.01%	28.80%
■ 茨城県	12.77%	12.05%	24.05%	23.01%	20.76%	22.65%	31.56%	21.70%
■ つくば市	13.82%	14.34%	18.57%	21.18%	19.64%	24.18%	36.02%	20.30%

通所介護

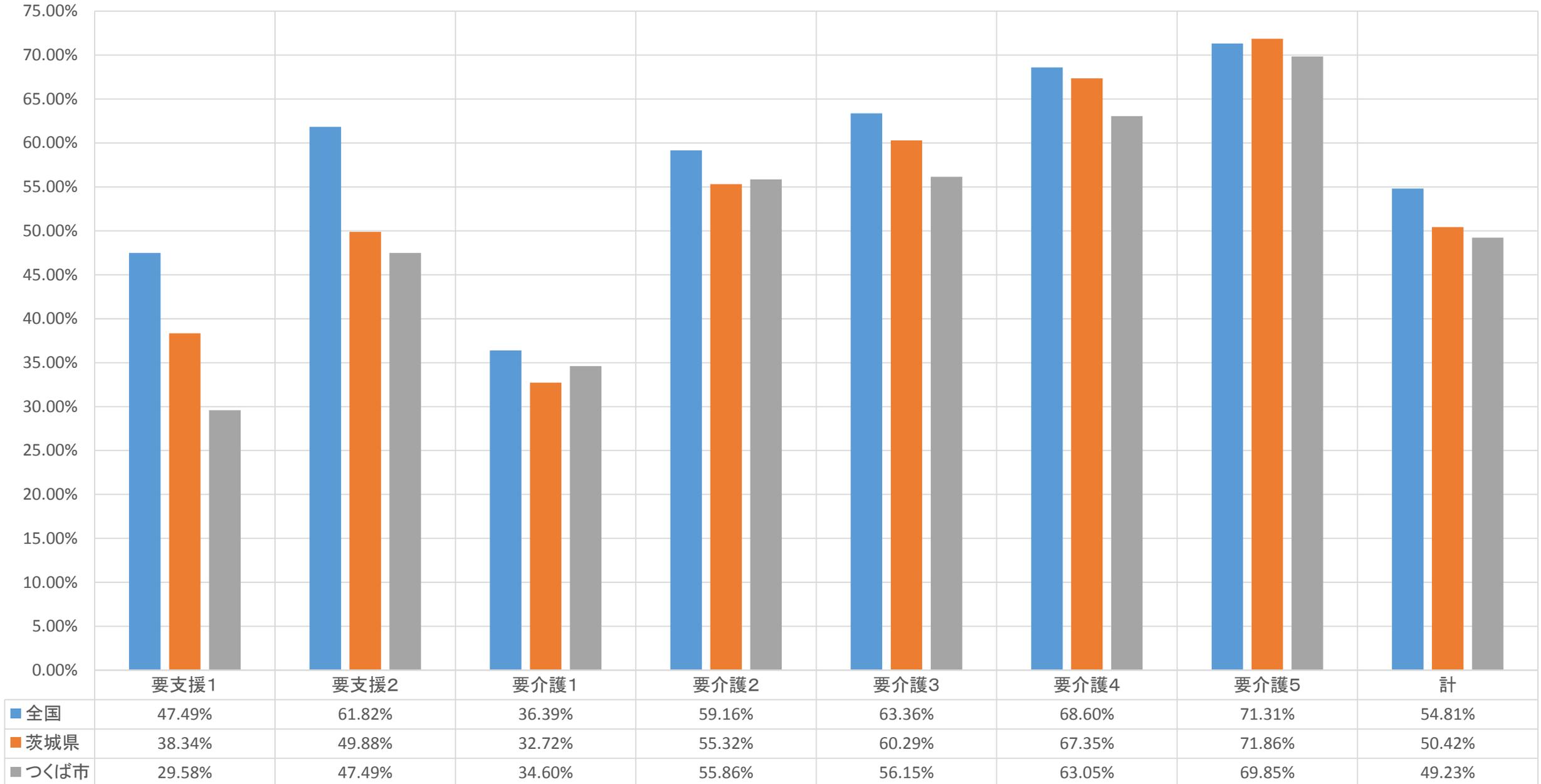
29年度給付実績



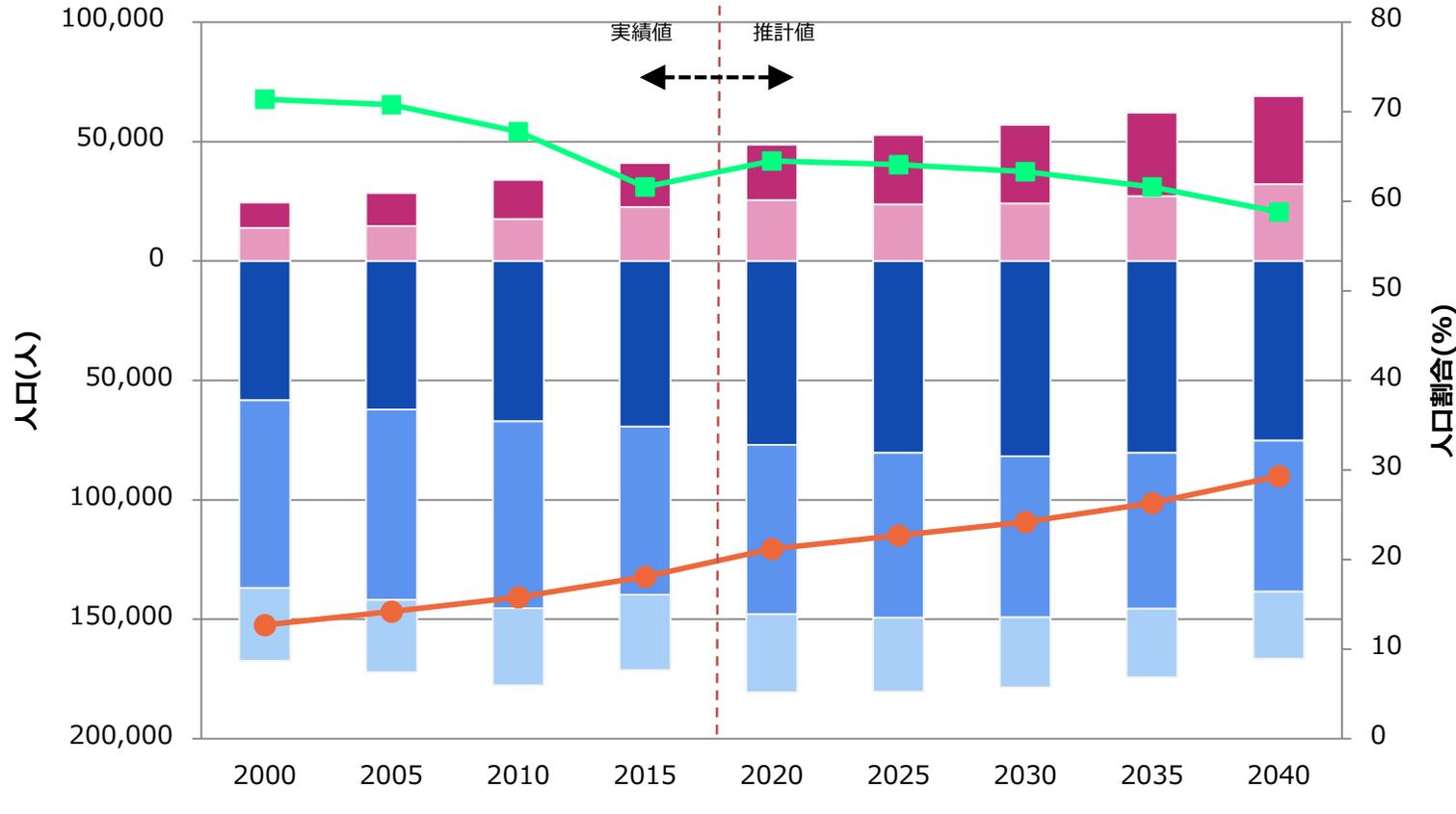
■ 全国	18.74%	15.51%	41.84%	39.11%	36.70%	31.53%	26.33%	33.26%
■ 茨城県	23.97%	23.58%	45.01%	41.20%	38.16%	30.87%	26.04%	37.21%
■ つくば市	39.42%	35.56%	50.16%	47.76%	41.71%	31.94%	27.67%	43.31%

福祉用具貸与

29年度給付実績



つくば市の人口の推移



つくば市の高齢化率の降順		
(2015年10月時点)		
茨城県内	44番目	44保険者
全国	1,553番目	1,572保険者
(2025年の推計値)		
茨城県内	44番目	44保険者
全国	1,482番目	1,519保険者
(2040年の推計値)		
茨城県内	44番目	44保険者
全国	1,471番目	1,519保険者

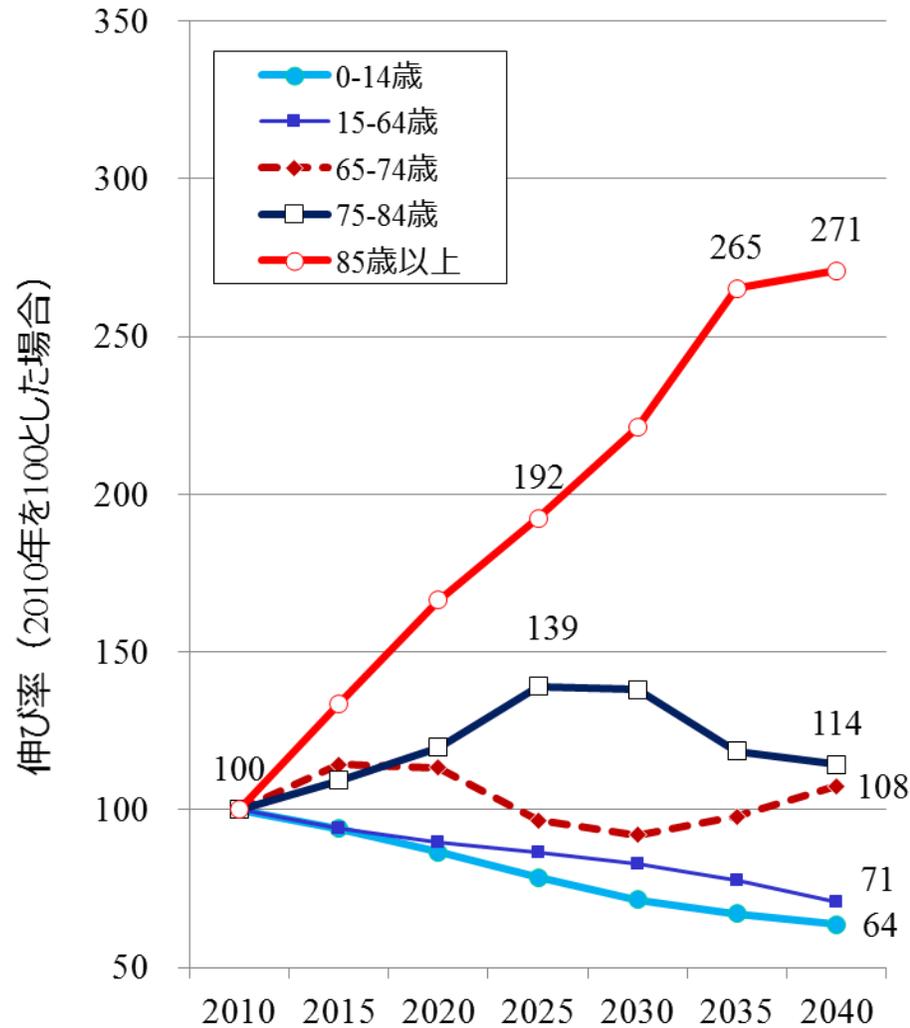
- 75歳以上
- 65歳～75歳未満
- 15歳未満
- 15歳～40歳未満
- 40歳～65歳未満
- 高齢化率
- 生産年齢人口割合

(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」
 2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

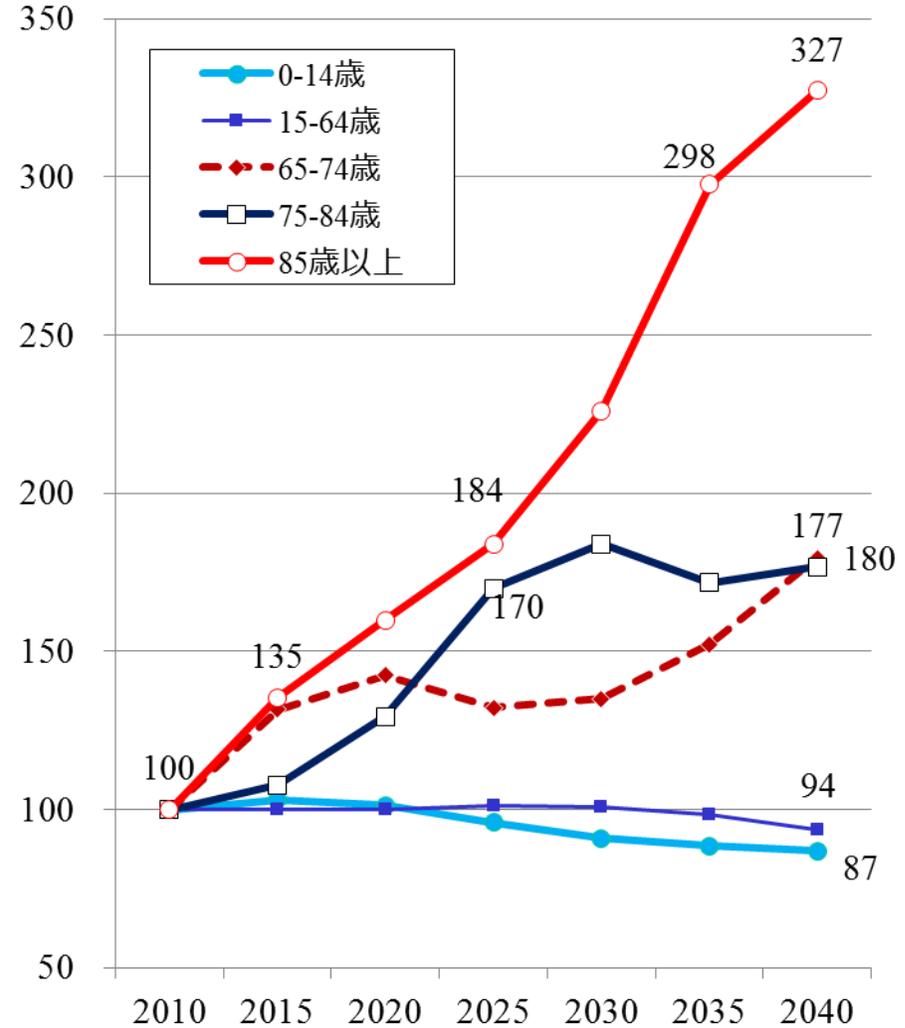
地域包括ケア「見える化」システム（平成30年6月5日取得）

年齢階級別人口の伸び率の推移

a) 全国



b) つくば市



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」より作成

グループワークの進め方

情報共有シートを作成するために
多職種の課題の共有と解決のためのプロセス

時間配分	内容
5分	自己紹介・役割分担 司会・タイムキーパー・書記・発表者を決める
40分	多職種チームでの協議 ①急変時の各職種で感じている課題 ②課題の共有と課題解決のための協議 ③協議いただいた内容を踏まえて多職種チームで新たに作成してください！もしくは情報共有シートに必要な項目を追加してください
5分	休憩
20分	多職種チームより発表
10分	講師の先生方から講評

各専門職の意見の共通点はあるか。チームで課題に対する対応策について協議・発表いただきたい。

「情報共有シート(案)」「つくつく見守りたい」の活用の在り方についてもご意見いただきたい！